

女川町民有志による女川町民のためのミニコミ。町の生活関連情報等をなるべく定期的に、皆様に発信していきます。本紙は皆様の声によって作られます。不肖私共はご協力下さい!!

発行：うみね新聞店
編集：取材：エンビ
構成・制作：ヤン

在宅避難地区・物資配給情報 5/13現在

物資配給に関するご相談・お問い合わせは、各地区のまとめ役の方が女川町物資班(ニ小体育館内)まで
 木村さん: 090-6067-0922
 高橋さん: 090-3923-11608

地区	対象人数	時間	配給場所	配給対象者	取りまとめの方
大沢	50名	9時・16時	大沢集会所	在宅避難者のみ	地区長
針浜	45名	9時・15時	針浜集会所	在宅避難者のみ	地区長
浦宿一	100名	16時(2回分)	区長宅	在宅避難者のみ	地区長
浦宿二	地区長と地区住民との話し合いの結果、配給も停止しました。				
浦宿三	16名	9時半・15時半	はやみ印刷前	在宅避難者のみ	地区長
西二(田舎)	155名	16時(2回分)	各家庭に配布	在宅避難者と地区住民	地区長
女川一	15名	9時・15時	各家庭に配布	在宅避難者のみ	区長代理
宮ヶ崎	150名	10時・17時	宮ヶ崎電力集会所	在宅避難者と地区住民	地区長
清水二	29名	16時(2回分)	伊東さん宅前	在宅避難者と地区住民	区長代理
清水三	50名	16時(2回分)	区長宅前	在宅避難者と地区住民	区長代理
石浜東・西	50名	15時	白幡さん宅前	在宅避難者と地区住民	区長代理
小屋取	20名	9時半・13時半	阿部さん宅前	在宅避難者と地区住民	地区長
上三	151名	10時・16時	上三区集会所	在宅避難者と地区住民	地区長
上四	218名	10時・16時半	さくら集会所	在宅避難者と地区住民	地区世話役
上五	26名	16時(2回分)	電カ瑪切P&T集会所	在宅避難者のみ	地区長
旭ヶ丘	360名	15時半(2回分)	旭ヶ丘集会所	在宅避難者のみ	地区長
横浦	10名		個人宅		地区世話役

物資の配給は、石巻市やその他の地区からの方も含めた、女川町在住の「在宅避難者」、被害で住居を失った方が主な対象となり、ています。

また、高齢であったり重がたい等、自給自足が困難な場合も、地区長さんの判断で対象に含まれます。

どの地区も、地区の取りまとめの方と住民の皆さんとの合意のもとに、配給人数を決定しています。

ほとんどの地区が、代表の方を中心に、協力体制で取り組んでいらっしゃるようですが、まとめ役の方ばかり負担がかかっているような地区もあるのが現状です。
 配給をスムーズに行うのも、必要な物資を届けてもらうのも、住民の皆さんのご協力が必要です。
 町民ひとりひとりの力には、より長くより円滑に支援が行き渡るように、未だ「うみねタイムズ」からも、住民の皆さんのご協力を七かに厚めます。役場ともまとめ役の方とも、積極的に対応コミュニケーションをとってみて下さい。

編集長の避難所レポート

第一保育所 (5/11現在) 104名

避難者の皆さんの方を協力的に、下水が詰まりぎみは事(その後直りましたか?)以外は、ますます不自由なく生活されているようです。
 その他、第一保育所所長の梁取れり先生よりコメントを頂きました。
 「9日から、昼食の配給を始めて頂いたの助かっています。朝晩の配給は今まで通りですが、調理場は生鮮食品の調理も出来るし、以前よりたいぶん食事の面は改善されたと思います。」

また、保育所としての現状は2017は、「4月より、各避難所を回る“生前保育”を始めました。週1~2回の割合で巡回しています。」
 「先生方が集まって、震災後の子供達の心のケアを考慮し保育所機能を進めて行く予定です。」との事でした。
 なお、保育所の機能に関しては、できる限り早い時期に、保育所業務も再開できるようにしたい、と言うお話をしました。
 保育所が再開すれば、保護者の皆さんも時間のゆとりが持てます。何より、お友達と会える事で、きっと子供達みんなに、元気な笑顔がどんどん増えますね!!

勤労青少年センター (5/11現在) 124名

生涯学習課の職員の方にお話を伺いました。
 日中、子供達のお世話としてくれる方が必要だったり、日頃頑張ってくれている調理師の方が、休みを取れる環境ができて良いようです。
 また、調理師の1人、小料理屋「味彩」のおかみさんともお話をさせて頂く機会がありました。
 センターの調理室で毎日皆さんの健康を考慮しながら献立を考えているように、避難者の方から毎回「おいし!!」と言ってもらえる事が励みになっていくそうです。
 おかみさんの「まず、がんばろう!」と言う、実に力強いお言葉とその姿に

思わずこちらまで「若し僕らの方でとむとがんばらねえ!」と言ったような気持ちになりました。
 おかみさん、お仕事の真最中で夕食が目の前に並んでいたのですが、……本当にうまそうだったなあ(笑)

制作者のたねごと
 「うみねタイムズ」第2号、いかがでしたか? 女川町外の方も、ネットなどで閲覧出来るように「炊き出し班」の参考になる、と言っていました。
 「うみねタイムズ」は女川町の皆さんが活用できるものにして行きたいと思っています。「広報おなげわ」と併せて、皆さんの生活の参考にして下さい。

女川町民有志による、女川町民のためのミニコミ。町の生活関連情報等を、なるべく発明的に、皆様に発信し発行。本紙は皆様の声により作られます。精励賜へご協力下さい!!

発行：湯沼新聞社
編集：取材：Tビロ
構成：制作：ペンマン

ちまちまなんでも掲示板.....

ホームページには載せきれないものが、今一度確認下さい!

女川町役場移転案内：54-3131

(二小内住居界隈に受付や標示があります。分かる場合はどうぞ)

- ・罹災証明書交付
- ・被災者支援金等の申請窓口
- ・災害ボウ・センター
は二小内1階です。

女川二小内

- ・町民課 (住民登録・戸籍・健康保険・国民年金・環境・ゴミ処理 他)
- ・健康福祉課 (社会福祉・介護保険・長寿支援 他)
- ・税務課 (税証明・税相談・軽自動車登録 他)
- ・建設課 (町道・水道・仮設住宅 他)
- ・会計課 (表簿金交付・見解金・市町基金 他)
- ・教育委員会・給食課・企画課・議会事務局
- ・企画課復興推進室・中否確認窓口

二小体育館内

- ・支援物資受付窓口

陸上競技場スタンド内

- ・水産農林課
- ・拾得物整理引渡窓口
- ・捜索班窓口

総体協ラウンジ

- ・商工観光課(商工物動)

女川商工会より お知らせ

- ・震災に係る被災状況等の調査票も、各事業所に送付しました。ご確認をお願い致します。
- ・中小機構が、店舗・工場等の仮設施設を整備し、市町村へ貸与する事業支援制度があります。詳しくは役場、または商工会が貸与人組までお問い合わせ下さい。

女川町役場：54-3131
女川商工会：53-3310

支援物資配給をお願ひ

物資の配給に関して、地区長さんの負担の掛りが大きくなっている、との声が寄せられています!!

スムーズに支援を受けるためにも、住民の皆さんのご協力が必要で

す。少数の人に任せきりにせず、地区ごとにそれぞれでコミュニケーションをとり、物資の運搬や朝晩の配給の準備など、持ち回りでお手伝いいただく等、少いずつであっても、皆さんが助け合いながら、長く支援を継続して行けるようにしましょ。どうかお願い致します!!

バス時刻に関するお知らせ

5/19にJR代行バスの時刻が改正がありました。冠水の影響などの理由で、これからの変更の可能性があります。お問い合わせの上確認してご利用下さい。

時刻が変更されたのは以下のJR代行バスのみです

○ミヤコバス 0225-22-4161 ○JR東日本 050-2016-1600
石巻営業所 (8:30~18:00) お問い合わせ係 (6:00~24:00)

女川町ホームページ

PCから ▶ <http://www.town.onagawa.miyagi.jp/>
携帯から ▶ <http://www.town.onagawa.miyagi.jp/m/>

・詳しい正しい情報は、女川町HPからも閲覧可能です。

・PCサイトの方が更新が早いので、そちらをご覧頂きます。

・PCサイトを携帯から開く場合は、下記サイトから「女川町ホームページ」で検索すれば、携帯仕様で閲覧できます。
Google ▶ <http://www.google.co.jp/>
FILE SEEK ▶ <http://fileseek.net/>

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
		02:00 138 16:36 124	02:36 142 17:14 125	03:13 143 17:51 125	03:50 142 18:28 123	04:30 138 19:04 121
6	7	8	9	10	11	12
05:13 131 19:41 120	06:01 122 20:20 119	07:00 111 21:00 118	08:22 100 21:42 119	10:18 94 22:27 122	12:22 97 23:13 126	13:52 104 23:58 130
13	14	15	16	17	18	19
14:53 113	00:41 135 15:40 119	01:24 140 16:20 124	02:05 143 16:56 127	02:46 146 17:29 129	03:27 146 18:01 129	04:09 143 18:33 128
20	21	22	23	24	25	26
04:52 138 19:04 127	05:38 130 19:35 126	06:31 120 20:08 126	07:34 109 20:44 126	09:02 99 21:24 127	11:08 96 22:10 129	13:17 101 23:00 132
27	28	29	30	女川湧り池(特に小栗地区周辺)、浦宿駅前を通過する際はご注意ください!!		
14:38 110 23:53 136	15:26 118	00:45 140 16:04 125	01:34 144 16:36 129			

避難所の避難所しるし

保福寺

5月20日付け避難所を解散した、保福寺(尾浦)のご住職、川巻英成さんに、避難所運営の体験談を伺う事が出来ました。

避難所開設当初は、物資の配給等、不公平が住みやすいにするのが大変だったようですが、ある時から『万人に平等はどうか、無理だから、ある程度の妥協もした上で公平さを保とう』と考えてみると、気持ちが大変楽になりました。

『ゆずり合いの気持ちを持つ事。自分が少し我慢した事で誰かが助けられ、それが良い結果を生む、と言う事を、ずっと言い続けて来ました』

普通に生活できている僕達も、こう言う精神は忘れてはならないと、痛切に感じました。

ご住職はまた、避難所の皆さんが、緊急時に対する防災意識を高く保てるよう、飲酒は一切控えてもらったり、落着かせを考慮して、病気の方には個室を用意したり、病状には皆で協力して運んで行く、室内に濡れたタオルを干して乾燥を防ぐ等、苦しいけど知恵をいまいながら、避難者の皆さんが、少しでも快適に過ごせるよう配慮されています。

『でも、避難所の皆さんのご協力がなかったら、とても自分自身は、ここまで出来なかった』

避難所を解散するにあたっては、『今となっては、あまり苦労はなかった。尾浦の皆さんと意識を共有し、結束できた。できる事なら解散させて欲しかった。小さな大家族をやらせていただいたよなもので』との事。

尾浦の区長さんからは、今回の解散の経緯について『町からの指示も的確にあつたけど、住職さんの日々の業務に、いつまでも差支え出でも無いから、言う、みんなの意志でもあったんだ。こんどどうも、角立たねくまの、ちゅん?』と言うコメントが、これまさに女川人の品格!! この

思いやり、僕は同じ女川町民として誇りに思います。

『これからは“一坊さん”“一川人”として、町の復興に尽力して行きなさい。皆さんがまた帰ってきて、皆で暮らして行けるようになるために協力して行きたい。負けねえぞ! 女川!』

最後のご住職の言葉に、勇気と元気を貰いました。女川は前進します!!

※保福寺の避難所の皆さん(43名)は、半分は旧三小入、もう半分は、町借り上げのアパートや親戚のお宅に移動するそうです。

おとせ

編集後記

『書くスパスがなくなり止(笑) 保福寺、いよいよ再開ですね!! 久しぶりですが、環境が整って来ると

思いますが(殆ど他人は被災地も実際ありません)。今回の『うみねこタイムズ』は1月中旬発行予定です。よろしくお願いします。